

岡原小だより

【学校教育目標：自ら考え表現できる児童の育成】

あさぎり町立岡原小学校
学校だより NO. 7
令和8年7月17日（金）
文責：校長 田山 一美

1学期終了そして夏休みへ

7月7日（火）に、4年生が桧山シニアクラブや水土里ネットの方々に協力をいただきながら岡原花博を開催しました。花を工夫して植えたり、花壇の紹介プレートを立てたりして、きれいな花壇ができました。地域の方に楽しんでいただけると嬉しいです。

先週は、2年生が学校の周り探検で岡原郵便局や堤酒造を見学し、3年生があさぎりホームでお年寄りの方々と交流をさせていただきました。6年生も1学期中に「あさぎり GO 農 'S フェスタ」や「笑祭」を主催される方のお話を聞かせていただきました。

本日で1学期が終わりますが、どの学年の子供たちも、たくさんの地域や保護者の方々の支援を受けながら学習を進めてきました。専門的なお話や温かいサポートのおかげで、子供たちは教科書を超えた「本物の学び」を体験することができました。地域の多様な大人の方々と触れ合い、認められる経験は、子供たちの社会性を育み、大きな自信へとつながっています。地域全体で子供たちを育てる温かい教育環境こそが、本校の大きな誇りです。今後とも、地域と共にある学校として歩んでまいりますので、引き続き温かいご支援とご協力をお願いいたします。

本日の終業式では、1学期の学習から学校教育目標の3つの資質・能力「主体的に学ぶ力」「関わり合う力」「やりぬく力」について振り返りました。子供たちは、自分の1学期を見つめ直すことで、2学期の教育活動につなげてくれることと思います。

そして、夏休みの願いとして「自分の命を絶対に守ること」「自ら考え行動すること」の2つを話しました。保護者の皆様、充実した夏休みとなりますようお願いいたします。



授業参観・学年懇談会・家庭教育講演会を行いました

7月10日（金）の授業参観では、全学年で「特別の教科 道徳」の授業を公開いたしました。かつての道徳は、物語の主人公の気持ちを読み解く「読み物」としての側面が強くありました。しかし現在の道徳は、正解が一つではない問いに対して、子供たち自身が「考え、議論する道徳」へと進化しています。参観中、子供たちが友達の意見に「なるほど」と耳を傾け、葛藤しながらも自分の言葉で一生懸命に考えを深めようとする、素敵な姿がたくさん見られました。多様な価値観を認め合う姿勢こそが、よりよく生きるための心の基盤となります。ぜひご家庭でも、お子様がどんなことを考えたのか、話題にしてみてください。



その後、家庭教育講演会を行いました。今年は、テレビやラジオでお馴染みの長船なお美様による講話でした。出産後に悩まれたこと、自分の母親から教わったこと、食の大切さなどの話があり、長船様の子育ての経験からたくさんのことを学ばせていただきました。笑いあり涙ありのあっという間の1時間でした。

授業参観、学年懇談会、そして家庭教育講演会に参加していただきました保護者の皆様、大変お世話になりました。

